

長佐古杯争奪

第40回ジュニアチャンピオン大会

Bulletin3(プログラム)

期日 2023年4月16日(日) 雨天決行・荒天中止
場所 埼玉県飯能市・東京都青梅市
会場 あいわ広場(飯能市阿須224付近)



主催 多摩オリエンテーリングクラブ
後援 東京都オリエンテーリング協会
協賛 OLG奥武蔵野(小笠原揚太郎氏)
O-Ajari(田島利佳氏)
O-Support(小泉成行氏)
株式会社ニチレイ
協力 青梅レクリエーション研究会
あいわ広場

大会ホームページ <http://www.orienteering.com/~tama>

タイムテーブル

8:30 会場オープン
8:45 受付開始
10:00 トップスタート
12:30 スタート閉鎖
12:30 新歓クラススタート開始
13:50 新歓クラススタート閉鎖
13:30頃 表彰式
15:00 フィニッシュ閉鎖
16:00 会場閉鎖(行事終了次第)

目次

会長挨拶	1	競技の流れ	8~9
感染症対策について	1	緊急対応事項	10
交通案内	2	長佐古杯について	10
会場案内	3~4	歴代チャンピオン一覧	11
競技に関する情報	4~7	競技に関する重要事項	12~13

ご挨拶

多摩オリエンテーリングクラブ 会長 菅原 琢

ジュニアチャンピオン大会に参加申いただき誠にありがとうございます。最初に、大会要項（ブリテン2）の公開が大変遅くなり、ごく短い参加者募集期間となってしまったことをお詫びいたします。

世の中の新型コロナウイルスへの対応も少しずつ変わりつつありますが、大会開催時点ではJ O Aの従来のガイドラインからの変更はありませんので参加の皆さんは昨年同様の対応をお願いいたします。ご不便をおかけしますがご了承下さい。

今年で40回目を迎える当大会、東京近郊でジュニアでも初級者でも手軽に参加できる大会を目指して回を重ねて参りました。今年も400名を超える方をお迎えできること、本大会を支持していただいていることに感謝いたします。参加される皆さんには貴重な七国峠のトレインを存分に楽しんでいただければ幸いです。今回も地元の皆様や協賛の皆様の多大なるご理解・ご協力をいただいております。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

例年、プログラムに書かれている基本的なルールを守れない方が散見されます。失格にならないようプログラムをよくお読みいただき、安全に競技を楽しんで頂ければと思います。ランキング指定されたこと、セレクションに指定されたことで、やや背伸びして上級クラスにチャレンジしている選手もいらっしゃると思いますが、くれぐれも安全第一・ルール遵守をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策について

本大会参加にあたり下記、新型コロナウイルス（以下、コロナ）感染予防へのご協力をお願いします。

○参加者の皆さまへお願い

- ・コロナ陽性者療養期間ならびに濃厚接触者待機期間中の方の参加はお控えください。
- ・イベント参加 7 日前から体温や健康状態の確認を行い、コロナ感染が疑われる場合は検査を行い、感染有無を確認の上ご来場ください。
- ・当日朝の検温を含む体調申告（WEB申告）をお願いします。
- ・検温については、ご自宅で出来ない場合は、会場に検温器を用意しますのでご利用ください。
- ・体調申告の下記項目に該当する場合は、参加をご遠慮ください。
 - ①平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）
 - ②せき、のどの痛みなど風の症状
 - ③だるさ（けんたい感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ④臭覚や味覚の異常
 - ⑤日常より体が重く感じるまたは疲れを感じる
 - ⑥新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者
 - ⑦同居家族や身近な知人に感染を疑われる方がいる
- ・対面での会話、密になる場合等は、マスク等飛沫防止に心がけてください。
- ・物の受け渡しや身体的接触を行った際には手洗いや消毒を心がけてください。
- ・食事等では対面にならないよう気をつけてください。

○大会運営

- ・大会運営者は、マスクの着用を行い、距離を取って対応することがあります。
- ・表彰式の簡略化、初心者説明の取りやめです
- ・スタート地区にマスク捨て場を設置します。
- ・フィニッシュで希望者へのマスク配布をします。
- ・トイレ等必要な場所に消毒液を設置します。

○体調申告（WEB）の方法

大会ホームページとJapan-O-entrYページに体調申告のURLおよびQRコードを掲載します。

入力は大大会当日16日朝5時より可能になります。 <https://forms.gle/KcHMKunLieDpMidk7>

交通案内

西武池袋線「元加治」駅から徒歩の場合

約1.3km、徒歩約20分、テープ誘導はありません。下記の図の黄線で示したルートでお越し下さい。
道路横断時は信号を守って下さい。車には充分気を付けて下さい。



自家用車、オートバイ利用の場合

- 追加の駐車場を確保しましたが、駐車券申込みの方の台数分、ぎりぎりの見込みです。できるだけ相乗りで台数を減らすようご協力をお願いします。
- あいわ広場の入口で役員の指示に従い、奥から詰めて駐めて頂きますようご協力をお願いします。大会ホームページに駐車券を掲載しましたので印刷し、スタートリスト記載のNo. を記入の上お持ち下さい。（ダッシュボードに掲示して下さい）。会場から徒歩3分の第二駐車場に駐車していただく場合もあります。
- 駐車場（会場）へは下図を参考にお越し下さい。通行量が多いので、あいわ広場への右折入場を避けるためご協力をお願いします。



会場案内

会場レイアウト

- 会場内の配置については会場レイアウト（下図）をご覧ください。レイアウトは、天候等により若干変更になる場合があります。駐車場兼用会場であり、入口が一つしかありませんので、車と歩行者が交差するところでは、注意してください。
- 青空会場です。テントを立てますが、雨天の際は十分ではありませんので公共交通機関での来場者を優先してください。車で来場者は車内での着替え・待機をお願いします。
- あいわ広場内にはトイレはありません。できるだけ駅やコンビニで済ませて来るようにお願いします。近くに阿須運動公園の公衆トイレがありますが、数は男性用（大1、小3）、女性用3です。公園利用者を優先する為、役員の指示に従ってください。 ※数は限られますがスタートまでの誘導上にある「カード読取所」のトイレを使うこともできます。（土足厳禁）
- 会場に公式掲示板が設けてあります。重要な競技情報、プログラム発行後の変更事項など大切な情報を随時掲示しますのでスタート前に必ずご覧ください。
- ごみは各自自宅までお持ち帰り下さい。地域のごみ箱や駅など帰宅途中の投棄は絶対にしないで下さい。



受付（事前申込者）

- 受付後、本部横の配布所にて、ナンバーカード、Eカード（レンタルの場合）、誘導地図等の入った袋をご自身でピックアップしてください。クラス別、出走時刻順に箱に入れてあります。
- 申込に不備のあった方には「お知らせ」の紙を入れてあります。「お知らせ」を持参の上、本部までお越し下さい。
- 配布所では、ご自身のものだけをお持ちください。残った袋を欠席確認に使うことがありますので、欠席者の袋は持って行かないようにお願いします。
- ご自分の E-カードを忘れた場合、E-カードに不具合があった場合は、ナンバーカードを持参のうえ本部へお越し下さい。E-カードレンタル料300円が必要です。
- 本大会では代走はできません。無断代走は厳禁とします。

- 若干の貸出用コンパスを用意します。競技終了後本部に返却して下さい。保証金は不要ですが、紛失・破損した場合は弁償金として3,000円をいただきます。
- レンタル E-カード を紛失・破損した場合は実費を頂きます。高価なものですので、紛失しない様にご注意下さい。簡便な E-カード 紛失防止器具を用意しました。希望者には無償で貸し出します。本部までお越し下さい。

新歓用クラス申込者の受付

- 本部で代表者が参加費をお支払い下さい。E-カードとナンバーカード、メンバー表（提出用）、誘導地図をお渡しします。

当日参加クラス・市民クラス（当日）申込者の受付

- 本部で参加費をお支払い下さい。E-カード、ナンバーカード等をお渡しします。
参加費は市民クラス600円、O A クラス・O B クラス4,000円、O N クラス2,000円です。

*レンタルカード代含む。マイカードは使えません。

- 当日参加クラスの受付は、**事前予約した方のみ**になります。

事前予約方法：

メールで下記の情報をお送り下さい。受け付けましたら当方より確認メールを返信いたします。

希望クラス・氏名・ふりがな・性別・年齢・生年月日・所属クラブ・住所・連絡先電話番号

tamajc@googlegroups.com

12日（水）21時必着でお送り下さい。受付後のキャンセルはできません。

初心者説明

- 今回は新型コロナウイルス感染症予防の観点から行いません。オリエンテーリングが初めての方は、事前に先輩、仲間等から競技のやり方の説明を受けた上でスタートに向かってください。説明を受けることなしにスタートに向かうことのないようにお願いします。（どうしても先輩や仲間から事前に説明が受けられない方は本部でご相談下さい。）

競技に関する情報

競技形式

- 個人・ポイント形式のロング・ディスタンス競技
- 日本オリエンテーリング協会の定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準拠
- 計時方式は全クラス、E M I T 社の電子パンチングシステム（E-カード）を使用

地図

- 使用地図 「七国峠2023」
「七国峠2022」の地図を2022年11～2023年3月に修正調査
- 縮尺 1：10,000または1:7,500 コース情報一覧をご参照下さい。
- 等高線間隔 5m
- 国際オリエンテーリング地図図式（ISOM2017-2）に準拠
- ビニール袋封入済み（PE製 0.08mm厚）
- 会場内に11:00まで旧マップを掲示します。会場内に過去の「七国峠」の地図を持ち込むことを禁止します。

● 特殊な地図の記号

ISOM2017-2 準拠	
×	ほこら/石碑/看板 Small Shrine/Stone Monument/Signboard
+	墓・墓地（立入禁止） Grave/Graveyard (out of bounds)
.....	植生界・樹列 Distinct vegetation boundary/Tree row

コース情報一覧

クラス	距離 (k m)	登り (m)	win.time (分)	縮尺
J M E	5.8	360	55	1:10,000
J W E	3.9	280	45	1:10,000
M 1 8	3.9	280	45	1:10,000
M 1 8 N	3.0	60	35	1:7,500
M 1 5	3.0	60	35	1:7,500
M 1 2	2.9	40	35	1:7,500
M 1 0	2.9	40	35	1:7,500
W 1 8	3.9	280	40	1:7,500
W 1 8 N	3.0	60	35	1:7,500
W 1 5	3.0	60	35	1:7,500
W 1 2	2.9	40	35	1:7,500
W 1 0	2.9	40	35	1:7,500
M 2 1 A	6.6	400	60	1:10,000
M 2 1 A S	5.3	260	55	1:10,000
M 3 5 A	5.3	260	55	1:10,000
M 5 0 A	4.9	230	50	1:10,000
M 6 5 A	3.8	170	50	1:10,000
M 7 5 A	3.8	170	50	1:10,000

クラス	距離 (k m)	登り (m)	win.time (分)	縮尺
W 2 1 A	5.3	260	55	1:10,000
W 2 1 A S	4.4	230	50	1:10,000
W 3 5 A	4.4	230	50	1:10,000
W 5 0 A	3.8	170	45	1:10,000
W 6 5 A	3.9	280	40	1:7,500
W 7 5 A	2.7	100	50	1:7,500
M B	3.1	50	35	1:7,500
W B	3.1	50	35	1:7,500
M N	2.9	40	35	1:7,500
W N	2.9	40	35	1:7,500
C N	2.9	40	35	1:7,500
O A	5.3	260	55	1:10,000
O B	3.1	50	35	1:7,500
O N	2.9	40	35	1:7,500
新歓	2.3	110	40	1:7,500

- ・優勝設定時間など競技に関する情報は予告なしに変更される可能性があります。当日公式掲示板で確認して下さい。
- ・地図サイズ 1 : 10,000 B 4 横 1 : 7,500 B 4 縦 (新歓クラスは A 4 縦)

コントロール位置説明

- ISCD 2018に準拠。ただし、すべてのN（初心者）クラス、10歳～15歳向け各クラス（JME/JWEを除く）は日本語を併記してあります。
- コントロール位置説明表はスタート地区で配布します。最大寸法は、およそ65mm×190mm程度です。コントロール位置説明は地図上にも印刷されています。

最大競技時間

- 競技者の安全のため、競技時間は最大で150分（2時間半）とします。**150分を超えた場合失格となります。**失格者はタイム・順位は表示されません。
- スタート後150分以内にフィニッシュを通過できるよう、タイムオーバーが予想される場合は競技の途中であっても速やかにフィニッシュに向かって下さい。

競技規則逸脱事項

- 地図の縮尺 ロング・ディスタンス競技ですが、1:10,000と1:7,500を使用します。
- スタート間隔 ロングのEクラスは最小で2分と規定されていますが異なるクラスもあります。
- 給水所 2箇所用意しますが規程よりもやや少なめです。

服装と用具に関する注意

- 今大会はナンバーカードを使用します（胸に1枚）。4本の安全ピンでしっかりと胸に固定して下さい。1本や2本のピンでの取り付けはご遠慮ください。また一番外側の競技用ウェアに装着し、競技中はいつでも外からよく見えるようにしてください。各自で安全ピン等を4本以上ご準備下さい。忘れた方は会場内本部脇に予備がありますので各自でお持ち下さい。
- 金属ピンの付いた靴の使用は差し支えありません。
- 服装について特に制約はありませんが、肌の露出しない長袖長ズボン、濡れても冷えない合成繊維のシャツなどを推奨します。

トレインおよびコースプロフィール

東京近郊では数少ない本格的な里山トレインで、東西に伸びる大きな尾根・沢は、枝尾根・沢が複雑に入り組んでおり、尾根線・沢線には小道が多く発達しています。急峻な斜面は滑りやすく、雨天時には特に注意が必要です。

上級者コースは細かな地図読みが求められる区間・道走りでスピードの上がる区間・登坂力が求められる区間が織り交ぜられています。中級者コースは道を辿りながらチェックポイントを確認して、道上から見えないコントロールにも正確にアタックすることが求められます。初級者コースは道の分岐や道と水系との関係を捉えながら道を辿ることが求められます。

- トレイン内の太陽光発電施設及びその柵の縁、隣接する造成地は通行・立入禁止です。

なお、中央部の道は通行できます。



- トレイン内のその他の立入禁止の看板や柵

トレイン内には、車両の通行禁止やゴミ投棄の防止のために「立入禁止」の看板や柵が設置されている場所があります。競技者は、通行できます。看板や柵をよけて通行してください。※地図には柵等は表示されていません。



競技上の注意事項

- 途中で棄権する場合も、必ずE-カードをなんらかの方法でフィニッシュまたは本部へ提出して下さい。絶対に無断で帰宅しないで下さい。無断で帰宅すると行方不明者として搜索の対象となります。
- 他人のE-カードが落ちていても拾わないで、目立つようにしておいて下さい。
- 救護が必要な場合は会場に対応します。
- トレイン内には立入禁止のエリアがあります。地図上ではパープルのクロスハッチで表記してあります。現地はテープで囲まれていません。立入禁止区域には立ち入らないで下さい。民家の敷地、耕作地も立入禁止です。立ち入りが判明した競技者は失格とします。
- トレイン内には一般のハイカーやマウンテンバイクの愛好家がいらっしゃいます。接触には十分気を付けて下さい。
- トレイン内には黒黄色ロープ（トラロープ）が張ってある箇所がありますが、これはオートバイ等の進入防止の為に、本大会の参加者の通行（通過）を妨げるものではありません。
- スタート地区への誘導区間に給水所を設けます。コース途中に給水所が2箇所あります。すべてのクラスで給水所を通過し、または近くを通るとは限りません。暑さも予想されますので、十分給水してからスタートに向かってください。
- 会場からスタートへの往路、フィニッシュからの帰路に、交通量の多い道路を通行します。歩道がある場所では必ず歩道を通行し、車両に十分注意して下さい。住宅街では、道幅が狭いので、横に広がらないようにして下さい。
- 傷病者の救助はすべてに優先されます。
- ウインドブレーカー等の輸送サービスはありません。但し、スタートに向かう途中でカード読取所を通過するので、ここに荷物を残置することは可能です。（置き場の提供のみです）。
- 数は限られますがカード読取所のトイレを使用することが可能です。（土足厳禁）
- 何らかのトラブルがあった場合は速やかに巡回中の役員、スタート・フィニッシュ・会場などの役員にお知らせ下さい。



noname
stro
NVii
O-Support Web shop

QRコード

O-Supportは
第40回ジュニアチャンピオン大会と
オリエンテーリングを愛する皆さんを応援しています。

photo by nviisport Instagram

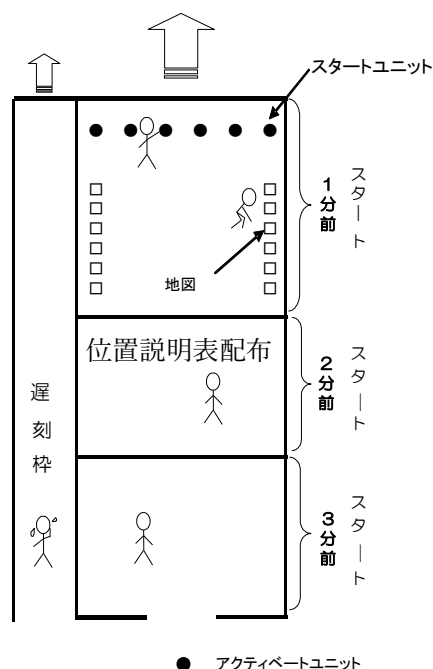
競技の流れ

スタートへ

- スタート地区までの誘導区間中に給水所を設けます。

スタートフラッグへ

(地図上の△)



スタート地区

- スタート枠最前列のスタートユニットの前に進んで下さい。どのスタートユニットを使用しても構いません。

スタート

- 新歓クラスのスタートは場所・開設時間が一般クラスとは異なります。新歓クラスに参加する方（上級生・新生とも）は各大学の引率者（代表者）の指示に従ってください。

競 技

- コントロールに到着したらコントロール番号を確認の上、E-カードをユニットにセットして下さい。
- 間違ったコントロールにセットした場合はそのまま次に正しいコントロールにセットすれば OK です。
- 機材の不調で電子的なデータを取得できない場合は、バックアップラベルで完走判定をします。
- バックアップラベルを紛失しても失格にはなりません、上記の判定が不可能なため失格になる場合があります。

フィニッシュおよびE-カードの読取り

- 最終コントロールからフィニッシュまでは赤白色の誘導テープに従って下さい。
- パンチングフィニッシュです。フィニッシュでユニットに E-カードをセットした時刻がフィニッシュ時刻となります。フィニッシュにある複数のユニットのどれにセットしても OK です。
- 競技中にE-カードを紛失した場合には、フィニッシュの係員に申し出て下さい。
- フィニッシュは 15:00 に閉鎖し、以後の計時は行いません。同時にコントロールフラッグの撤収を開始します。すべての競技者は 15:00 までにフィニッシュを通過して下さい。競技途中の競技者も 15:00 のフィニッシュ閉鎖に間に合わないと判断した場合は直ちに競技を中止しフィニッシュに向かって下さい。
- E-カードの読取りはフィニッシュから会場までの途中にある読取所で行います。読取所を通らずに帰宅すると行方不明者扱いになりますので不通過は厳禁です。万が一、棄権してフィニッシュを通過しない場合は速やかに本部にその旨を申告して下さい。
- フィニッシュから読取所までは、フィニッシュ地区に設置した看板により誘導します。読取所から会場までは、読取所に掲示した地図を参照して移動して下さい。
- フィニッシュ／読取所では地図の回収を行いません。誘導路上および会場では地図を内側に折り、未出走者の目に触れないよう配慮をお願いします。
- レンタル E-カードは読取所で回収します。なお、計時トラブルがあった場合、個人所有の E-カードを一時お預かりすることがあります。この場合、E-カードは会場の本部でお返しします。
- 読取所では飲料の配布があります。空き容器は自宅までお持ち帰り下さい。
- すべてのクレームは本部備え付けの専用紙でのみ受付けます。回答は公式掲示板に掲示します。

調査依頼と提訴

- 競技に関して疑義が生じたときの調査依頼は本部備え付けの所定の用紙で本部に提出してください。
- 調査依頼に対する回答が不服の場合、提訴することができます。回答が出されてから原則 15 分以内に本部備え付けの用紙で提出してください。

裁定委員

- 大会会場の公式掲示板に表示します。

成 績

- 感染症対策のため、速報掲示は行いません。「Lap Center」でご確認下さい。会場に QR コードを掲示します。
<https://mulka2.com/lapcenter/index.jsp>
- 成績表、ラップ解析結果は大会ホームページで公開します。
本大会では成績処理のアプリケーションに的場洋輔氏作成の Mulka 2 を使用しています。
詳しくは、<http://www2s.biglobe.ne.jp/~matoba/public/olk/index.htm>

表 彰

13：30頃から JME は10位まで、その他のジュニアクラスは3位まで表彰いたします。参加者全員で栄誉を称えましょう。一般クラスおよび新歓クラスの表彰は行いませんが、一般クラスの上位3位まで本部にて賞品をお渡しします。JME、JWE の優勝者には長佐古杯が授与されます。

販売地図について

申込み時にご注文いただいた方のみ、12時半頃から本部受付にてお渡しします。当日の販売はおこないません。
欠席者地図のお渡しは13時頃の開始を予定しています。同じクラブの方、引き取りをお願いします。当日限り。

写真撮影について

主催者が、競技中も撮影をいたします。あらかじめご承知の上、ご参加下さい。これらの写真・映像を、報告書や今後の広報活動に使用する場合があります。

緊急対応事項

- 大会中止について** 荒天等により、参加者の安全を確保できないと判断した場合、大会を中止します。
この場合、参加費の返金はいきませんのでご了承下さい。
大会を中止する場合は、多摩オリエンテーリングクラブのホームページ <http://www.orienteering.com/~tama> で午前6時頃までにご案内します。
- けが等の責任・処置** 参加者の不注意または故意によって生じたケガ、または第三者に与えた損害は参加者の責任となりますので、十分注意して行動されるようお願いいたします。健康保険証をご持参下さい。主催者は会場で応急処置をいたしますが、それ以上の処置はできません。主催者側でスポーツ傷害保険に加入しています。
- 体調不良時の棄権** 体調が思わしくないときの出走はやめましょう。具合が悪くなった場合はレースの途中でもやめる勇気をもって下さい。
- 問合せ先** E-mail : tamajc@googlegroups.com 可能な限り E-mail をご利用下さい。
電話：090-1257-9785（浅沼）まで。応答できない場合もありますのでご了承下さい。

大会役員

大会会長	菅原 琢（多摩オリエンテーリングクラブ会長）
実行委員長	昆野 郁
競技責任者	三野隆志
コースプランナー	Joerg Vetter
イベントアドバイザー	高橋 厚
渉外	児玉 拓 浅沼英博
地図作図・編集	浅沼英博
地図修正調査	浅沼英博 児玉 拓 山田一善
プログラム編集	菅原 琢
運営役員（上記以外）	荒井正敏 宇野明子 宇野浩一 梅林正治 大町宏志 加藤昭次 島田 修
鈴木清美 鈴木恒久 鈴木規弘 鈴木博実 友田賢吾 野中好夫 平木達也 藤平正敏 松山雅彦	
三野隆志 三森弘満 三宅 互 山田一善 石神孝樹 Tachiana Savchenko	
小野賢二さん（東京都協会） 高村卓さん（上尾OLC） 高村陽子さん（上尾OLC） 仁多見剛さん（埼玉県協会）	

長佐古杯について

オリエンティアとして非凡な才能を持ちながら1984年7月に22才の若さで他界した長佐古哲也君は、多摩OLが永遠の課題として持ち続けているジュニア育成の中から育った逸材でありました。第2回大会(1980)では実行委員長もつとめました。中学生で始めたOLは高校・大学と進むに従い着実にエリートランナーとして力をつけていました。しかし東京農工大在学中に発病し、8ヶ月余りの激しい闘病生活の末、ご両親・ご家族・友人・仲間等多くの人たちの願いもむなしく深い悲しみと多くの尽きせぬ思い出を残して突然去ってしまいました。

その訃報は多摩OL・東京農工大OLCほかたくさん仲間たちにとって信じられない事でした。哲也君は世田谷に生まれ、お父上の転勤について札幌、神戸と移り住み、世田谷用賀中・新宿高・東京農工大と進み、OLをこよなく愛しました。いつの時でも一生懸命生きた哲也君の鎮魂を願い、多摩OLジュニアチャンピオン大会に1991年の開催から長佐古杯を設けました。JMEとJWEに与えられるカップは、長佐古家よりOL発展のためにとご寄贈いただいたものを基金として運用、その賞に充当しております。多摩OLでは不世出のエリートランナー哲也君に続くオリエンティアの育成を念じ、質の高い大会を提供してまいります。

歴代ジュニアチャンピオン一覧

大会	開催日	地図名	JME 優勝者		JWE 優勝者	
第1回	1978. 4. 2	美根	村越 真	(トータス)	長田 由紀	(東京OL)
第2回	1980. 4. 2	物見塚	宮川 達哉	(早大学院)	松井 忍	(江北高)
第3回	1983. 4. 24	狭山嶺	井上 浩之	(浦和高)	佐藤 恵美	(水戸OL)
第4回	1986. 9. 28	塩船観音	大江 桜麻	(桐朋高)	田島 利佳	(南高麗中)
第5回	1987. 10. 11	青梅坂	鹿島田 浩二	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第6回	1988. 10. 2	塩船観音	永田 芳樹	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第7回	1989. 10. 1	滝山城趾	一瀬 建日	(麻布学園)	志村 聡子	(川和高)
第8回	1991. 1. 20	霞丘陵	諏訪 高典	(麻布学園)	中込 裕子	(国分寺高)
第9回	1992. 1. 19	狭山嶺Ⅱ	加藤 裕	(東農大三高)	金木 愛加	(梅田OLC)
第10回	1993. 1. 17	滝山城趾Ⅱ	石澤 俊崇	(早稲田実業)	酒井 さつき	(オオムラサキ)
第11回	1994. 1. 23	草花丘陵	榎本 和弘	(麻布学園)	酒井 さつき	(練馬区)
第12回	1995. 1. 03	小金井公園	稲田 丈朗	(麻布学園)	石川 綾	(桃山高校)
第13回	1996. 1. 21	七国峠	稲田 丈朗	(麻布学園)	高橋 ひとみ	(東京高専)
第14回	1997. 1. 19	狭山嶺 ver4	玉置 俊光	(桐朋学園)	達富 睦	(亀岡OC)
第15回	1998. 1. 18	草花丘陵	積雪により中止			
第16回	1999. 1. 24	滝山城趾	纓坂 尚	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(新宿高校陸上部)
第17回	2000. 1. 23	今井城趾	山田 高志	(桐朋学園)	参加者なし	
第18回	2001. 1. 21	今井城址	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(小平OLK)
第19回	2002. 1. 20	平井	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 久美	(実践学園高)
第20回	2003. 1. 19	今井城址	柴本 浩児	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第21回	2004. 1. 18	滝山城址	斉藤 翔太	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第22回	2005. 1. 23	平井 2005	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第23回	2006. 1. 22	滝山城址 2006	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第24回	2007. 1. 21	日和田山 2007	宇野 夏樹	(武相OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第25回	2008. 1. 20	七国峠 2008	山崎 純	(桐朋IK)	藤田 雲母	(岐阜OLC)
第26回	2009. 1. 18	滝山城址 2009	尾崎 弘和	(麻布学園OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第27回	2010. 1. 24	七国峠 2010	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第28回	2011. 1. 23	平井 2011	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第29回	2012. 1. 22	七国峠 2012	角田 貴大	(東海高校)	参加者なし	
第30回	2013. 1. 20	滝山城址 2013	角田 貴大	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第31回	2014. 1. 19	七国峠 2014	稲森 剛	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第32回	2015. 1. 18	平井 2015	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第33回	2016. 1. 24	滝山城址 2016	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第34回	2017. 1. 22	七国峠 2017	折橋 旺	(麻布学園)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第35回	2018. 1. 21	平井 2018	森清 星也	(東海高校)	吉田 菜々子	(都立戸山高校)
第36回	2019. 1. 20	七国峠 2019	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	落合 英那	(OLCルーパー)
第37回	2020. 2. 2	滝山城址	福室 凜	(麻布学園OLK)	落合 英那	(OLCルーパー)
第38回	2021. 4. 18	七国峠 2021	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	完走者なし	
第39回	2022. 4. 17	七国峠 2022	梶本 和	(県立千葉高校)	山本 美沙	(渋谷で走る会)
第40回	2023. 4. 16		?		?	

競技に関する重要事項

比較的初級者の割合が高いイベントですので、あらためて注意喚起いたします。熟読をお願いします。

また、保護者の方、新入生指導にあたる上級生の皆さん、指導を宜しくお願いいたします。

●競技時間を超えての競技続行は認めておりません。

スタート後、本大会では150分を経過した場合、超過の可能性が高いと判断した場合は速やかにゴールに向かって下さい。これは参加者の義務です。

●一旦スタートしたら必ずフィニッシュおよび読取所を通過して下さい。

カードを読み取りませんと「行方不明者」扱いとなります。

カードを紛失した場合はフィニッシュおよび読取所でその旨を申告して下さい。無断帰宅は厳禁です。

●正しく E-カードを目覚めさせて下さい

会場およびスタート地区（枠入り前）でカードのアクティベート（始動）を必ず行って下さい。ユニットのランプが**数回・一定間隔**で点滅したことを必ず自分の目で確認し、不具合があったら役員に速やかに申告して下さい。

●正しくスタートして下さい

スタートでは係員の指示に従い、スタート10秒前にカードをユニットにセットし、**スタートの合図と同時に**ユニットからカードを離して下さい。

●タイム計時機器の不具合の可能性について

大会に使用する全ての機器は前日までに複数回のチェックをしておりますが、経年劣化もあり、直前の不調・競技中の不調で完走したことが電氣的に確認できない事例が散見されます。（個人所有のカードでも不具合発生が散見されます）

自衛策として、**バックアップラベルに打痕が確実に残るようパンチをして下さい**。電氣的にコントロールの通過が確認できない場合、バックアップラベルの打痕の有無で通過判定を行います。

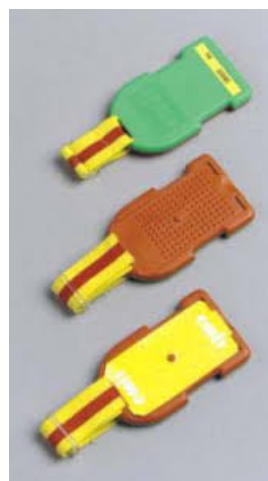
●ラベルの脱落防止：ラベルを紛失すると打痕確認による救済ができませんので、競技中にラベルが脱落しないようラベルの端を小さく切ったビニールテープでとめる等の対策を推奨します。但し、補強が原因で打痕が確認できないと本末転倒ですので補強範囲には留意願います。

●正しくパンチ

コントロールに到着したらユニット番号を確認の上、バックアップラベル面を下側にして、カードをユニットと平行になるまで埋め込んで下さい。正しくセットするとユニットの突起物によりラベルに打痕が残ります。カードが斜めの状態ではラベルに打痕が残りません。（それほど強く押し込む必要はありません、**カードがユニットに対し平行になるまで倒す**、を意識して下さい） ※ユニットの構造は会場でカード動作チェックを行う際に確認して下さい。

●カードを紛失しないために

カードを紛失した場合は失格となり、弁償金も発生します。心配な方はカードをゴム紐で手首に繋ぐ等の工夫をして下さい。

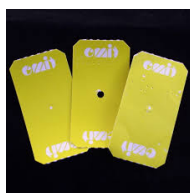


●カード

表面
つるつとした面が表面です。

裏面
小さな穴がたくさんあいているのが裏面です

裏面にラベルをはめた状態



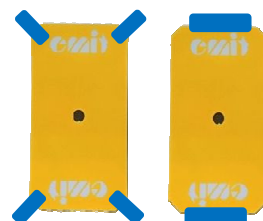
●バックアップラベル

カードの裏面に挟み込みます。脱落しないように端をテープ等で止めると安心です。正しくユニットにセットすると1箇所につき1つの打痕（穴）が残ります。



打痕の例

●ラベル補強（脱落防止）例
テープを小さく切ってラベルの端に貼り付けます。



●ユニットへのセット方法

カードがかすかにユニットに接触する程度でも通常は電氣的な記録が残りますが、機材不具合時の完走判定はバックアップ用のラベルで行いますのでラベルに打痕が残るようにカードをしっかりとセットして下さい。



●カードの裏面（ラベル側）を下側にして、②の部分ユニットの①の部分に斜めに押し当て、②を支点に③を下方向に押し下げます。

●番号確認をお忘れなく

地図の位置説明に表示されている番号と、ユニットに表示されている番号が一致していることを確認してからパンチして下さい。

3	33				
4	34	↗		Y	
5	37	↘		┐	
6	38	●		○	
7	39	←	↗	↘	Y

5番コントロールに着いたらユニットの番号が**37**であることを確認してからパンチ（カードをユニットにセット）

OLG OKUMUSASHINO

(Orienteering Goods & Info)

<http://www.OL-SHOP.COM>

OLG奥武蔵野は多摩ジュニアチャンピオン大会を応援します。
それはオリエンテアとしての基本的な素養が形成される一番大事な年代だからです。
フィンランドではクラブの大ベテランの選手がマンツーマンの指導をし
16歳でエリートへの道がほぼ決まります。

日本の指導的オリエンテア集団多摩オリエンテリングクラブの大会を通して
世界に羽ばたくジュニア選手が出るのを願望して微力ですが応援させていただきます。

OLG OKUMUSASHINOは、またオリエンテアのニーズに応えるべく
世界中から新しいOL用品や情報を食欲な好奇心を持って収集、皆さまに提供します。



TRIMTEX

O-Ajariは世界にはばたく選手を
応援します

Road to Champion

www.o-ajari.com

N 日チレイ

おいしい瞬間を届けたい

<http://www.nichirei.co.jp>